

実践英語

責任者・コーディネータ	外国語学科英語分野 松田 竜宙 助教		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
対象学年	1	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 28時間(14コマ)
期間	前期		
単位数	1単位		

・ねらい

看護英語を題材にしたDVD教材を使用しながら、様々な医療場面で必要とされるコミュニケーションスキルの養成および関連知識の習得を目的とする。また、医療人を志す学生が今後、それぞれの専門分野で学ぶ際に役立つ知識や、文献を読む際に不可欠な医療に関する基礎的な語彙も学修する。これにより、意思伝達に関する実践的な英語表現・知識・方法等を学修することで、グローバル社会で医療人に不可欠なコミュニケーション能力を向上させる上で必要な技能、能力を修得できる。

・学修目標

1. 様々な医療場面でのコミュニケーションに関連した語彙、英語表現を習得し運用できる。
2. 患者さんの訴えを正確に聞き取り、英語で適切に対応することができる。
3. DVDを視聴しネイティブ・スピードの英語に慣れると同時に、内容を理解・発音できる。
4. 実践的な英会話を通じて、快適でスムーズなコミュニケーションの環境をつくる要素を理解できる。

・薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）対応項目

B-2-1 対人援助のためのコミュニケーション、B-2-2 多職種連携

・学修事項

1. 様々な医療場面でのコミュニケーションに関連した語彙、英語表現の習得
2. 患者の訴えの正確な聞き取り、および、適切な対応
3. ネイティブ・スピードの英語の内容理解、および、発音
4. 快適でスムーズなコミュニケーションの環境をつくる要素の理解

・この科目を学ぶために関連の強い科目

English Reading & Writing、English Speaking & Listening

・この科目を学んだ後につなげる科目

科学英語、海外英語演習、薬学実践英語1、薬学実践英語2

・ 講義日程

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
4/18	金	4	英語分野	松田 竜宙 助教	Unit 1: Greetings 1. 患者さんとの様々な挨拶の仕方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（医療従事者の名称）を学び、英語で応用できる。 【ロールプレイ】 事前学修：自己学修 DVD を使用して Dialogue (p. 2-) の音声を聴き、空所に英語を書き入れておく。
4/24	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	Unit 2: Giving Explanations 1. 患者さんへの説明の仕方と行動を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（体全体の名称）を学び、英語で応用できる。 【ロールプレイ】 事前学修：Dialogue (p. 8-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。
5/1	木	4	英語分野	松田 竜宙 助教	Unit 3: Tests (X-ray) 1. 検査について患者さんに的確に伝える方法を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（頭部の名称）を学び、英語で応用できる。 【ロールプレイ】 事前学修：Dialogue (p. 14-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。
5/8	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	Unit 4: Inviting the Patient to Talk, and Listening 1. 患者さんの個人的な状況や感情を汲み取る方法を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握

					<p>し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（臓器の名称）を学び、英語で応用できる。</p> <p>総括評価：Unit 1～3の小テストを行う。</p> <p>【ロールプレイ】</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 20-)の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
5/15	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 5: Nursing Care and Asking Permission</p> <p>1. 患者さんの許可を得る方法を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（処置に関する表現）を学び、英語で応用できる。</p> <p>【ロールプレイ】</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 26-)の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
5/22	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 6: Injection</p> <p>1. 患者さんに注射を打つ際の指示表現を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（感染症と予防接種の名称）を学び、英語で応用できる。</p> <p>【ロールプレイ】</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 32-)の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
5/29	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 7: Vital Signs</p> <p>1. 患者さんに注射を打つ際の指示表現を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（感染症と予防</p>

					<p>接種の名称)を学び、英語で応用できる。</p> <p>総括評価：Unit 4～6の小テストを行う。</p> <p>【グループワーク】</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 38-)の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
6/5	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 7: Vital Signs</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者さんに注射を打つ際の指示表現を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現(感染症と予防接種の名称)を学び、英語で応用できる。 <p>【ロールプレイ】【グループワーク】</p> <p>事前学修：出版社のWeb動画でUnit 7-1bad dialogueを視聴し、Unit 7-2good dialogueでどのような点が改善されているかを考える。</p>
6/12	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 9: Operation</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者さんへの手術前の指示や再確認する表現を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現(様々な痛みに関する表現)を学び、英語で応用できる。 <p>【グループワーク】</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 50-)の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
6/19	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	<p>Unit 9: Operation</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者さんへの手術前の指示や再確認する表現を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現(様々な痛みに関する表現)を学び、英語で応用できる。 <p>【ロールプレイ】【グループワーク】</p>

					事前学修：出版社の Web 動画で Unit 9-1bad dialogue を視聴し、Unit 9-2good dialogue でどのような点が改善されているかを考える。
6/26	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	Unit 11: Medication 1. 投薬に関する指示や患者さんへの確認の仕方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現を学び、英語で応用できる。 【グループワーク】 事前学修：Dialogue (p. 62-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。
7/3	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	Unit 11: Medication 1. 投薬に関する指示や患者さんへの確認の仕方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現を学び、英語で応用できる。 総括評価：Unit 7、9 の小テストを行う。 【ロールプレイ】 【グループワーク】 事前学修：出版社の Web 動画で Unit 11-1bad dialogue を視聴し、Unit 11-2good dialogue でどのような点が改善されているかを考える。
7/10	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	Unit 15: Consultation (Cancer) 1. 患者さんの気持ちを尊重し相談に乗る会話の進め方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（頻用される略語）を学び、英語で応用できる。 【グループワーク】 事前学修：Dialogue (p. 86-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。

7/17	木	2	英語分野	松田 竜宙 助教	Unit 15: Consultation (Cancer) 1. 患者さんの気持ちを尊重し相談に乗る会話の進め方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（頻用される略語）を学び、英語で応用できる。 総括評価：Unit 11、15の小テストを行う。 【ロールプレイ】【グループワーク】 事前学修：出版社のWeb動画をUnit 15-1bad dialogueを視聴し、Unit 15-2good dialogueでどのような点が改善されているかを考える。
------	---	---	------	----------	---

・ディプロマポリシーとこの科目関連

1. 薬剤師として医療に携わる職業であることを理解し、高い倫理観と豊かな人間性、及び社会の変化に柔軟に対応できる能力を有しているもの。	△
2. 地域における人々の健康に関心を持ち、多様な価値観に配慮し、献身的な態度で適切な医療の提供と健康維持・増進のサポートに寄与できるもの。	△
3. チーム医療に積極的に参画し、他職種の相互の尊重と理解のもとに総合的な視点をもってファーマシューティカルケアを実践する能力を有するもの。	△
4. 国際的な視野を備え、医療分野の情報・科学技術を活用し、薬学・医療の進歩に資する総合的な素養と能力を有するもの。	◎

・評価事項とその方法

総括評価：定期試験(論述式10%、記述式50%、MCQ10%)、第4, 7, 12, 14回講義で行う小テスト(記述式25%)、各講義で行う発表(5%)
形成的評価：講義毎の振り返りシートで理解度を確認し、フィードバックする。

学修事項	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1	1.2.3.4			25	40			60
2.3	4				20	3		25
4	4				10	2		15
合計				25	70	5		100

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	Everyday English for Nursing on DVD	Yasuko Onjohji, John Skelton	SEIBIDO	2010

・特記事項・その他

1. 学期中に4回の小テストを行う。
2. 確認テストを実施した場合は採点後に返却・解説する。また、提出課題については添削後コメント

を付して返却する。

3. 授業では関連トピックについてペア・グループワークで練習する機会を設ける場合がある。

4. 事後学修として、適宜医療英語や重要表現を復習する。

5. 事前・事後学修および学修時間

学修内容の理解を深め定着を図るために、授業範囲については必ずわからない単語や表現の意味を調べ、概要を理解してから授業に臨む。併せて、自己学修 DVD を活用して英語を聴く習慣をつけることで、リスニング強化につながる。事前学修の時間は各回最低 40 分を要する。事後学修として復習する際は、授業で分からなかった（間違えた）ところや、特に重要なポイントと指摘された箇所を見直し、自己学修 DVD で再確認する。会話表現は音読して、単語の発音やアクセントを確認しながら復習する。なお、事後学修の時間も各回最低 40 分を要する。

6. 成績確定後に希望者には定期試験の成績を開示する。希望者は科目責任者に連絡すること。

当該科目に関連する実務経験の有無 無

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC	1	講義資料の提示